



スマイル天神 No.41



令和5年1月23日
天神小学校
校長 木下 和弥

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

家庭学習の大切さ

先週の1月20日（金）に、福石中学校と崎辺中学校において、中学校入学説明会が行われました。福石中学校や崎辺中学校に出かけ、学校の様子を実際に自分の目で見て、その中学校の先生方や先輩の話を聞いたことは、とてもいい経験になったと思います。

小学校から中学校への進学は、私立の中学校や県立中学校など、選択肢も以前に比べて豊かになっています。それでも公立小学校から公立中学校への進学がほとんどで、エスカレーター方式で進学するため、「～ができないといけない」とか「試験で～点以上が必要だ」とか「面接試験のために練習をしておかなければならない」という部分が比較的少ないように思います。しかし、中学校3年という義務教育が終了した後は、個人の力・責任・目標など様々な要素が関係してきて、思い通りにならないこともあるのではないかと思います。中学校の先生方と話をしていると感じることは、この「進路選択」の責任の重さです。

今回の入学説明会の中学校の先生の話の中で「小学校での勉強は確実にできるようになっておいてください」や、「家庭学習が大切です」など、話があったと聞きました。将来の進路選択のために、とても大切な事だと思います。

私自身、中学校の授業を参観させていただいた際に、小学校と一番違うのは、「授業のスピード感」だと思いました。小学校の授業では、一般的に一つ一つていねいに教えていることや、少人数指導などで、一人一人に対してきめ細やかに指導をすることが、よさとしてあるかもしれません。しかし、中学校は学習する内容が小学校よりはるかに多く、その分、スピードも速いです。ここに対応するには、二つのことが大切です。

一つ目は、このスピードでもついていける基礎学力、つまり小学校の間の学習は確実に習得しておくこと。二つ目は、授業で学んだことが身につくように、家庭学習の習慣が確実に身につくこと。中学校の先生が小学6年生に対して話された内容に、ぴったり当てはまります。

昨年4月に行われた全国学力・学習状況調査では、全国の平均より長崎県は家庭学習の時間が短いこと、佐世保市はこの長崎県の平均よりもさらに短いこと、そして天神小学校はこの佐世保市の平均よりもさらに短いことが明らかになりました。つまり、

家庭学習の時間： 全国＞長崎県＞佐世保市＞天神小学校

という状況です。家庭学習の時間の傾向は、1年生から5年生も同じような傾向です。学力を身に付けるために授業を大切にすることに力を入れています。授業で学んだことを習得するための家庭学習も大切だと思います。宿題をすること以外に、自分が調べたいと思ったことを自主的に調べる。難しいようなら、国語に関わらず、全教科で教科書を声を出して読む。大切な教科書の内容をノートに写す。授業で取り組んだ問題に再度取り組む…。「中学1年生の4月に、毎日2時間の家庭学習を集中してできる」というゴールを意識して取り組めるとよいと思いました。



天神小一徳運動 「気持ちのいいあいさつ」 ～あじさいあいさつを～

～あいての目を見て ①ぶんから ②わやかな声で ③いつでも・どこでも・誰にでも